



元気な阿戸町だより

平成26年1月15日

阿戸町連合町内会発行

メールアドレス/atochounaikai-info@hyper.ocn.ne.jp

ホームページアドレス//www.com-net2.city.hiroshima.jp/ato/



年頭の挨拶

明けましておめでとございます。

昨年は、長年の懸案でありました阿戸小中学校一体型校舎が落成し、いよいよ小中連携教育の環境が整って参りました。

これを契機に保育園・幼稚園・地域も加わり「まちぐるみ」で、「阿戸っ子」を育てていく取組みが始まり、これからが大いに期待されます。

さて、元日には恒例の第六十四回阿戸町駅伝大会が盛大に開催され、新しい年がスタートいたしました。

今年も阿戸町を元気にさせるため沢山のイベントが行われることと思います。

一方、福祉や教育、土木など多くの地域課題も抱えております。

本年も活力ある住みよいまちづくりを目指して精一杯がんばって参りますのでご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



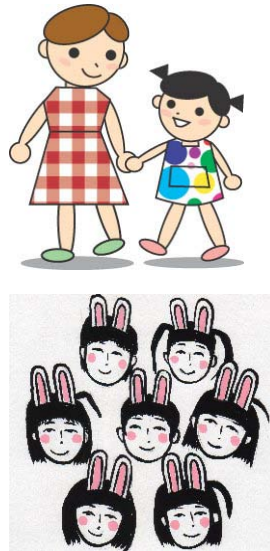
認定子ども園について

“二十六年建築工事に着手”

現阿戸幼稚園の東側の用地買収を行ったうえで、建物を増築（平屋建）するとともに、敷地内に送迎用駐車場を整備されます。

スケジュール（予定）

二十五年年度 用地取得、実施設計
二十六年年度 造成工事、既存建物の改修工事、増築工事
二十七年四月 開園



県道瀬野呉線舗装工事について

“二十五年年度中に完了”

二十二年度から計画的に実施し、瀬野境から安芸農協阿戸支店付近まで完了しています。残り区間、熊野町境までの一・二キロメートルについて今年度中に完了の予定です。

なお、県道津江八本松線（長戸路）戸坂峠区間については、二十六年年度に実施していただくよう要望しています。

神立地区道路の拡幅について

“二十五年年度内に一部工事発注予定”

二十五年八月、安芸区長に再度要望いたしました。今年度内に、一部工事を発注される予定です。

阿戸保育園の土地・建物の利用について

認定こども園が、二十七年四月に開園の予定です。

これに伴い阿戸保育園は移転することになり、跡地や建物の利用を検討することとなります。

保育園のグラウンドは、子ども達の遊び場として、園舎は、交流の場として活用できないかなど、これから「まちづくり推進委員会」において検討して参ります。



安芸区長への要望事項について

昨年の八月、阿戸町の当面の懸案事項について安芸区長に対し要望書を提出いたしました。

（継続事業）

- 一 神立地区道路の拡幅について
- 二 長谷川河口暗渠部の改良について
- 三 西方寺川の改良について
- 四 県道瀬野呉線舗装工事について

（新規事業）

- 一 阿戸認定こども園（仮称）の整備について
- 二 住民基本台帳の統計数字の整理について
- 三 市道の所有権移転登記について
- 四 阿戸地区社会福祉協議会の位置づけ向上と活動支援体制について

小中学校地域参観日・ふれあい研修会

昨年十二月七日に地域参観日とふれあい研修会がありました。この日は土曜日ということもあり、お母さんお父さんを始め、おじいちゃんおばあちゃん、そして地域の人の姿もありました。この日は参観だけでなく、中学校では体験授業もありました。生徒と一緒に机を並べ、何十年か振りに先生にあてられる、ドキドキ感を味わった方もおられました。

その後のふれあい研修会では、広島国際学院大学力ウンセラーで、中国新聞でもお馴染みの永川邦久先生より「子どもを伸ばす上手なほめ方・叱り方」という演題で講演がありました。

事例を交えながらのお話で九〇分があっという間に過ぎてしまいました。その中で「子育ては親だけでは無理、親身になってくれる祖父母や地域の人に素直に頼りましょう。阿戸町はそれができる地域だと思います」という心強い言葉をいただきました。

地域の宝である子ども達を、阿戸の多くのふれあいの中で育て、また同時に地域も子ども達から元気をもらっていると、改めて感じた一日でした。

小・中合同文化祭

秋の恒例となった小中合同文化祭が、昨年の十月二六日に賑やかに開催されました。

この合同文化祭は土曜日開催されたことで、保育園の子ども達も多く参加し、幼稚園児と一緒に仲良くステージに立ち、かわいい歌声で開幕しました。

小学校一、二年生の阿戸町のクイズを盛り込んだ元気いっぱい歌、三、四年生の落語「寿下無」の楽しいことばあそび、五、六年生のルパンのス

テキな合奏。そして、小学生に続く中学生の合唱は、クラスがひとつにまとまり素晴らしいものでした。幼児から小学生、中学生へと発達する段階を一日で見ることができ、大変見応えのあるものでした。

しかし、この発表に至るまでの過程には、先生方と子ども達の多大なる努力があったものと思われまます。その努力に應えるかのように、どのステージにも観客からの惜しみない拍手が贈られていました。

そして、その励ましに子ども達の顔が誇らしげに輝き、子ども達と観客がひとつになった、阿戸ならではの合同文化祭でした。

第三十回町民体育祭

阿戸学区体育協会 会長 久光 肇

昨年の十月六日、前日の大雨が嘘のように晴れ上がった秋空の下、町民体育祭が開催されました。少子高齢化の中、各区とも選手集めに苦労されたようですが、体育協会を中心に内容を工夫して、例年通りの大会を運営する事が出来ました。

どの競技も参加者が一生懸命で観客を沸かせていました。

本大会も今回で三十回目を迎えました。隔年ごとの大会ではありますが、阿戸町民がこぞって参加する唯一のスポーツイベントが、時代のニーズに合わせて、今後とも発展、継続していく事を願っています。

最後に、本大会を開催するにあたり、ご協力を頂きました実行委員の皆様をはじめ、関係各位に厚くお礼申し上げます。



第三十回阿戸町民祭り

人々のぬくもりと、自然の恵みの共演

前日から心配していた雨、テントを張ったのは正解でした。

十一月十七日祭り当日 時折、小雨の降る中でも農産物や文化祭の作品が、それぞれの思いを込めて持ち込まれました。

「農業祭」と「文化祭」そして「バザー」により、今年も盛況の一日でした。

異常気象で悩まされたにも係わらず、我が子を育てる気持ちで伝わる農産物は二百二十点余り、会場の左右に展示されました。

文化祭での作品には、日頃からこつこつ取り組まれたこだわりの作品が展示されました。

ステージ発表では、中学生が受験に悩む思いを発表しましたが、多くの方が深刻に耳を傾けておられました。

また、混声三部合唱にも温かい拍手が響きました。恒例の大正琴の発表をはじめ、中学生による「エシキバンド」には驚きました。

小雨の中でのバザーでは、うどんやちらし寿司、炊き込みご飯など美味しく頂いております。

多くの皆さんの協力と取り組みで盛大に終えることができたのも、わがまちの自慢でしょう。

これからも元氣なわがまちの発展につながることを信じた一日でした。



第六十四回阿戸町駅伝大会

第六十四回 阿戸町駅伝大会開催される

穏やかな新春の朝、十発の打ち上げ花火と共に、平成二十六年、阿戸町の幕開けを告げる、第六十四回阿戸町駅伝大会が盛大に開催されました。

町内各区から八チームが参加して阿戸町内を駆け抜けました。

どのチームも各区選りすぐりの選手ばかりで、沿道の声援をうけ、激しい競り合いを繰り広げましたが、第五区間で逆転した三区Aが栄冠に輝きました。

かつては実業団チームも参加したという、六十四年の輝かしい歴史を持つ本大会が、今後ますます発展、継続される事を祈ってやみません。



有価資源ゴミ利益還元額の状況について

累計 一、八二六、〇〇〇円

皆様には、家庭有価資源ごみの収集に御協力をいただきありがとうございます。

二十五年十二月二十一日現在、一、八二六、〇〇〇円となっております。

これは、「阿戸まちづくり基金」において厳正に管理しております。

阿戸町内グループの紹介

(四) 大正琴 大空グループ

代表 横田 美智子

阿戸町に、大正琴の音色が響くようになってから三十年。初めは多くの人が習っていましたが、現在は十名です。三十年続いている人が三人もいます。

講師は、琴伝流大師範の城 葉月先生(本名です)で、熱心に指導して下さいます。大正琴は右手で弦を弾き、左手で数字の書いてあるキーを押します。指が覚えるまでの時間が、年と共に長くなります。

両手を使いますし、合奏ですのでみんなに合わせなくてはなりません。ボケ防止にはもってこいです。

だからみんな歳より若く見えると思いますか？

主な活動は、敬老会、町民まつり、さらに三月のおさらい会、広島県大会です。

二、三年に一度位、全国大会に出場する事もあります。四月から新しい曲の練習が始まります。

皆さん。演奏会を聴きに来て下さいね。



(五) エンジョイ エアロビクスグループ

代表 香島 まみ

こんにちは。私たちは、公民館でエアロビクスを楽しんでいる、「エンジョイエアロビ」グループです。

活動を始めて十二年目になります。私たちが行っているのは、エアロビクスダンスというダンス形式の有酸素運動で、アップ・ダウン・フロアエクササイズ・ウォームダウン・クールダウンの全過程を、音楽に合わせて行います。

最近流行の曲に合わせて踊るのも、もちろん楽しいですが、フロアエクササイズでは、特に「体幹」を意識したプログラムになっています。

年齢に負けない身体作りに励んでいます。また、先生はけっして無理はせず、一人ひとりに合った指導をして下さいます。

日々溜まっていくストレスを解消し、毎日元気に過ごすことが出来る素晴らしいスポーツです。皆さんと一緒に「エンジョイ」しませんか！



雨の中での”ジャズライブ”

今回で十三回目を迎えた“森のジャズライブ”。初めて雨となり、急ぎよ中学校体育館での開催となりました。

出演者も十数名の多さで、狭い体育館でのハンディーを感じさせない熱演で観客を魅了しました。

出演者が身近に感じられ、森の中とは違った面白さがあり、観客にも好評でした。特別教室棟では、阿戸のそばの販売もあり、来場者の皆様も満足しておられました。

“森のジャズライブ”は阿戸町内の行事として市民の間にも定着しており、喜ばしい限りです。



ふれあい物語

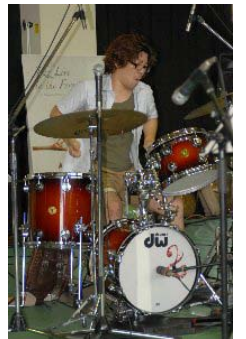


「四こま漫画」

について

人情味の豊かな、阿戸町をイメージしています。これは、第2区町内会の藤岡由紀美さんの作品です。

平成二十五年度行事報告及び行事予定



五月二日	小中学校合同運動会
五月十九日	小中一体型校舎 落成祝賀会
六月七日	献血運動
六月二十四日	区長を囲む会
八月十五日	納涼盆踊り
八月二十五日	森のジャズライブ
十月六日	第三十回 町民体育祭
十月二十六日	小中合同文化祭
十一月十日	第三十三回 区民祭り
十一月十七日	第三十五回 町民祭り
十一月二十六日	ゴミ処理施設見学会
一月一日	第六十四回 阿戸町駅伝大会
一月十五日	健康教室（ギター漫談）
三月二日	町内一斉清掃（予定）
三月十六日	第三十七回ウォークラリー大会（予定）

「元気な阿戸町だより」創刊5周年を迎えて

編集長 宇野 耕次

早いもので、平成二十一年一月に、創刊号を町民の皆様にお届けして、満五周年を迎えました。連合町内会の広報はもちろん、町内の各種行事や団体の紹介、さらには町内の名所旧跡の紹介など、幅広い話題をお届けして参りました。

この間、多くの方にご無理をお願いし、原稿を寄せていただきました。厚くお礼申し上げます。今後とも、阿戸町の情報発信のツールとして頑張っておりますので、ご指導、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

☆総括責任者 松田 康憲
☆編集委員長 宇野 耕次
☆編集委員 出口 勝紀（第二区）
古井 智子（第二区）
横山 みどり（第一区）



編集後記

九月の終わりから、中国新聞一面の下にあるコラム「天風録」の書き写しをしている。脳のトレーニングに良いとか。今更トレーニングでもないだろうと思ひ、する積りもなかったが、時間を持て余していたある日、なんとなく書き写しをしたところ、これがまた面白く、はまってしまった。今日まで、一日も欠かさず続けている。過去何十年も書き慣れていた漢字が違っていたり、点が有ったり無かったり、はねていたりいなかったり、と新しい発見が相次ぐ。勿論時事問題などもあり、面白い。「町内会だより」の読者にも是非お勧めである。

宇野耕次 記